

豊岡市障害者計画の取組み状況

2023 年度のグループインタビュー及び豊岡市障害者自立支援協議会の提言から、「豊岡市の主な課題」として課題①～⑧を挙げています（緑色の冊子 P12～13）。そのうちの「②就労環境の充実」「③福祉人材の確保・育成」「⑦災害時に備えて」について、市の取組み状況と課題を確認します。

課題② 就労環境の充実 資料 2－1 P3

障害のある人も担い手となり、特性に応じた働き方ができるような就労支援が求められています。

職場では、誰もが障害に対する理解を深めていく必要があります。また、一般就労へつながった方が長く働き続けられるよう、ハローワークや但馬障害者就業・生活支援センターなど関係機関と連携を図り、定着へ向けた職場への支援が重要です。

さらに、就労に伴う通勤などの課題の解消にも取り組んでいく必要があります。



○超短時間雇用の推進では、雇用先の募集や訪問を行っているが、なかなか就労につながらない。
多様な働き方がある中で、障害者の就労・雇用に向けてどんな取組みができるでしょうか。

課題③ 福祉人材の確保・育成 資料 2－1 P6・10・17

障害者やその家族が抱える様々な課題やニーズを的確に把握し、対応するためには、専門的な知識や経験のある人材の育成が欠かせません。

相談支援専門員やサービス提供事業者の質的な向上を図るためにも、研修に参加する機会を設けることが必要です。

また、ヘルパーやピアサポーターとして、障害者が障害者を支えるような仕組みを検討していく必要があります。



○相談員雇用の補助金制度を創設したが目標に達していない。また、自立支援協議会等でも研修会を行っているが十分ではないと考えている。人材の確保・育成について、支援が不足していると思われることは何でしょうか。

課題⑦ 災害時に備えて 資料 2－1 P20・21

災害に対して事前に取り組む可能な対策や準備を進める必要があります。安全を確保するには、日頃からの意識啓発や地域での声の掛け合いが重要となります。また、災害時の避難の仕方は、障害の特性により異なることから、障害のある人がストレスなく利用できる避難所を確保するとともに、自宅避難も含めた適切な避難方法が求められます。

地域、行政、関係機関などがそれぞれの役割を認識し、協力して迅速な避難行動をとることができる体制づくりが求められます。



○支援している障害者について、日頃からされている災害対応はありますか。